

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

水虫・たむし用薬 1日1回で効く ラミシールプラスクリーム

第②類医薬品

殺真菌成分 テルビナフィン塩酸塩配合

水虫・たむしは白癬菌〈水虫菌〉というカビ（真菌）が皮膚表面にある角質層に感染・寄生しておきる皮膚病です。ラミシールプラスクリームは、殺真菌成分テルビナフィン塩酸塩を配合する水虫・たむし治療薬です。

特 徴

- 有効成分である「テルビナフィン塩酸塩」の優れた殺真菌作用と角質層への浸透力は、1日1回の塗布で薬剤が患部に留まり、かゆみや痛みなどを引き起こす水虫・たむしに持続的に効果を発揮し、症状を治していきます。
- クロタミトンが患部の不快なかゆみを鎮めます。
- グリチルレチン酸が患部の炎症を抑えます。
- l-メントールが爽やかな使用感を与えます。
- 尿素が水虫による皮膚のかさかさ、ひび割れを改善します。また、角質を柔らかくし、薬剤の浸透を助けます。
- べとつかない、サラッとした使いごちのよいクリームです。特にびらん（ジュクジュク）型や角化（かさかさ、ひび割れ）型の患部にお勧めします。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）

1. 次の人は使用しないでください

本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状（例えば、発疹・発赤、かゆみ、はれ等）を起こしたことがある人

2. 次の部位には使用しないでください

- （1）目や目の周囲、粘膜（例えば、口腔、鼻腔、膣等）、陰のう、外陰部等
- （2）湿疹
- （3）湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- （1）医師の治療を受けている人
- （2）妊婦又は妊娠している可能性のある人
- （3）乳幼児
- （4）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
- （5）患部が顔面又は広範囲の人
- （6）患部が化膿している人
- （7）「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人
（陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。）

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	かぶれ、刺激感、熱感、 りんせつ らくせつ 鱗屑・落屑（フケ、アカのような皮ふのはがれ）、ただれ、乾燥・ つっぱり感、皮ふの亀裂、いたみ、色素沈着、発疹・発赤*、かゆみ*、はれ*、じんましん*

*：全身に発現することがあります。

3. 2週間位使用しても症状が良くならない場合や、本剤の使用により症状が悪化した場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能・効果

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

用法・用量

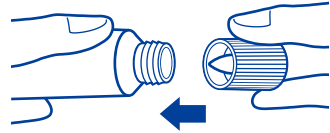
1日1回、適量を患部に塗布してください。

【用法・用量に関する注意】

1. 定められた用法を厳守してください。
2. 患部やその周囲が汚れたまま使用しないでください。
3. 本剤のついた手で、目や粘膜にふれないでください。
4. 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。
5. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
6. 外用にのみ使用してください。

〈チューブの穴の開け方〉

キャップを逆さにして、突起部をチューブの先に強く押し当てて開けてください。



成分 (100g中)

成分	分量	はたらき
テルピナフィン塩酸塩	1g	みずむし・たむしの原因である白癬菌にすぐれた殺真菌作用を示します。
クロタミトン	5g	患部のかゆみを鎮めます。
グリチルレチン酸	0.5g	患部の炎症を抑えます。
l-メントール	2g	患部のかゆみを鎮め、爽やかな使用感が残ります。
尿素	5g	水虫による皮ふのかさかさ、ひび割れを改善します。また、角質を柔らかくし、薬剤の浸透を助けます。

添加物：N-メチル-2-ピロリドン、オクチルドデカノール、グリセリン、カルボキシビニルポリマー、ステアリン酸グリセリン、ステアリン酸ポリオキシシル、ジイソプロパノールアミン、pH調節剤

保管及び取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
2. 小児の手の届かない所に保管してください。
3. 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。）。
4. 使用期限をすぎた製品は使用しないでください。

水虫治療のアドバイス

水虫・たむしの原因である白癬菌（水虫菌）は、症状があらわれている範囲より広く寄生していることが多いので、薬剤を広めに塗布することをお勧めします。また、以下のことに留意して使用してください。

1. 根気よく継続治療する

- かゆみなどの症状がなくなった後も、約1か月間は、根気よく治療を続けてください。



2. 患部を清潔にする

- 白癬菌の増殖を抑え、二次感染を防ぐため、患部をよく洗い清潔に保ってください。
- 薬剤を塗布した後、患部にふれた手や指もしっかり洗ってください。



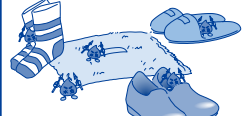
3. 患部の乾燥に心がける

- 白癬菌はじめじめした環境を好みます。入浴あとや、スポーツなどで汗をかいたあとはしっかり患部を乾燥させてください。
- 通気性の悪い靴・靴下はなるべく避け、患部を乾燥させるよう心がけてください。



4. 履き物なども清潔に

- 靴、靴下、スリッパ、浴室のマットなども清潔に保ち、感染に注意してください。
- 靴のむれは水虫の温床になります。数足を毎日順番にはきかえるよう心がけてください。



【お問い合わせ先】

- (1) お買い求めのお店
- (2) 全薬お客様相談室
電話：03(4476) 8030
受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

製造販売元

全薬工業株式会社

東京都文京区大塚5-6-15

<https://www.zenyaku.co.jp>